

皿沼城跡(深谷市)

橋を渡ったところに説明板が立っている





皿沼城跡

深谷上杉氏の家臣岡谷香丹は、近くを鎌倉街道が通っているため、利根川を渡って攻めてくる古河公方の軍に備えるため、深谷城北辺の守りとして、延徳三年（一四九一）築城しました。

伏見稲荷を城内にまつり、諏訪神社を城の鎮守としましたが、のち城を長子清英にゆずり曲田城に隠居しました。清英は文武両道にひいでた武將で、深谷上杉三宿老の一人として活躍、上杉謙信から、その武勇をたたえられています。

天正十八年（一五九〇）深谷落城と共に、この城も亡びました。

城のあった地点は高台でしたが、煉瓦の原料として掘り取られ、水田になり、現在「シヨウ」の呼び名が残っています。

平成十四年十月 深谷上杉顕彰会



遠景から見る/左手前方に案内板が立つ/西側から見たところ



さて、これは反対に東側から見る/右端に案内板が立つ/この辺り一帯が皿沼城跡らしい



近づいて見る





左手を見る



右手の木々の辺りを見る



アップで見る/堀跡の名残りであろうか



さて、ここは少し南に歩いたところにある神社



これが血沼城の鎮守とされた諏訪神社



「村社 諏訪神社」とある



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/117saranuma/saranuma.html>

http://outdoor.geocities.jp/kojyo_annai/3_kanto/9_saitama/saranuma_shiro.html

<http://homepage2.nifty.com/zikihatiman/saranuma.htm>

http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/folder/1474705.html?m=lc&p=11

